

令和2年度 学校評価報告書

学校名	三田市立狭間中学校
-----	-----------

1 学校教育目標

人間尊重を基盤とし、確かな学力と豊かな心でたくましく生きる生徒の育成

2 今年度の学校重点目標

1. 学力向上
2. 生徒の人権が尊重される学校づくり
3. 開かれた学校づくり
4. 生徒理解に基づく生徒指導の推進
5. 教職員の実践的指導力の向上
6. 働きやすい職場環境の整備

3 総合的な自己評価

生徒は規律正しい生活を送り、授業も集中して取り組むなど、全体的に見て概ね良好である。しかしながら、コロナ禍で精神的に不安定となる生徒が増加し長期欠席生徒の割合が増加したことは課題である。次年度はより一層、全教職員で生徒理解に努め、安全で安心した学校生活を前提に、一人一人の生徒が活躍できる機会と場を設けることやわかる授業、基礎基本の充実等に努めていく。

4 総合的な学校関係者評価

学校生活全般において概ね良好と考える。生徒は規律正しい生活に高い意識を持ち、教員も「主体的・対話的で深い学び」などの新たな授業形態を推進して授業力の向上に努めている。今後は、学力向上に加え「人間尊重」を基盤とした正しい生徒理解による適切な指導に心掛け、安全で安心した学校生活に努めること。また、子どもの心のケアにも努め欠席生徒の割合を低下させるよう努めること。

5 評価結果

自己評価			学校関係者評価	
分野・領域	評価項目(取組内容)	評価結果及び分析	改善の方策	学校関係者評価委員会の意見
教育課程	・年間の標準授業時数を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・弾力的に時間割を編成し標準授業時数を確保しながら内容の充実に努めた。 ・学校行事については、内容の精選を図りつつ充実した内容となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に教育活動の見直しや精選を行いながら、新たな教育活動については、計画的に実施していく。 ・行事の精選を行いながらも、目的意識を明確にし、その内容が一層充実したものとなるよう工夫を凝らす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、日々、授業計画を見直し、工夫しながら授業時数を確保している。 ・コミュニティ・スクールの特長を生かし、地域住民を活用した教育活動を今後も推進すること。また、保・幼・小・中の連携した取り組みも充実させていくこと。
	・教育活動を見直し、精選と充実を図る			
	・適切で充実した学校行事を実施する			
学習指導	・わかる授業で「確かな学力」を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習システムの授業を3教科で実施している。 ・今年度より朝学習を実施し基礎基本の充実を図っている。 ・人間尊重を基盤に学校生活全般で指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で授業力の向上に努める。 ・基礎学力が定着するように朝学習に加え授業の改善工夫を行う。 ・学習相談の在り方を工夫し、個に応じた対応や学習内容の精選を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の指導と評価については、授業研究を積み重ねるとともに、各教科の評価基準を明確にして学力の向上に努めること。 ・タブレットも有効に活用し、基礎学力の定着を目指すこと。 ・命や人権を大切にするという意味で、教職員への研修の充実も必要である。
	・基礎的学力の定着を図る			
	・命や人権を大切にすることを育てる			
生徒指導	・規律正しく、落ち着いた生活を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は規律正しく落ち着いた生活を送っている。 ・「生活アンケート」や教育相談等のあらゆる手段で生徒理解と問題の早期発見に努め、問題解決には組織を機能させて適時・適切に指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは、いつでもどこでも誰にでも起こる問題として捉え、全教職員で日々の言動に注意を払う。 ・ハイパーQ Uを実施し、生徒理解や対応に生かしていく。 ・学級活動や道徳教育の充実等により、生徒一人一人に自己有用感を感じさせ、自尊心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の規律正しい生活への意識も高く、落ち着いた学校生活が維持できている。 ・今後も多様な側面から生徒の理解に努め、いじめ対応についてはSC,SSWを有効に活用して適切に対応すること。 ・個々の生徒が活躍できる機会と場は設定されている。生徒自身が自分の価値を感じられるような働きかけが必要である。
	・いじめや暴力を許さない学校文化を創る			
	・教育相談を充実させ、生徒理解に努める			
	・個々の生徒が認められ活躍できる学級・学年活動を行う			
安全・保健管理	・安全で安心な生活環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、全教職員で施設や設備の安全点検を行っている。 ・年2回、防犯教室を実施し体調管理や登下校の安全等にも日々努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検に加えて、生徒に快適な生活環境の意識を持たせ、教職員とともに環境美化にも努めさせる。 ・ネット犯罪から身を守り、トラブルに巻き込まれない知恵と態度を身に付ける安全教育を継続実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検を充実させ、安全安心な環境整備につとめること。 ・今後もネット犯罪等の講演会を定期的実施するなど、安全教育に努めること。特に、保護者への啓発が重要となるので、入学説明会やPTA 総会等の機会を有効に活用すること。
	・危険回避の安全教育と安全指導に努める			
保護者や地域との連携	・学校や生徒の様子をわかりやすく伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや情報発信メールを活用し、学校の様子を紹介している。 ・コロナ禍で学校開放の機会は減ったがことは残念であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでは幅広い情報を発信するとともに学年・学級通信等の充実にも努める。 ・学校行事以外にも生徒向けの講演会等を広報し、保護者の参観を働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページと学級便り等の通信の両面で、学校生活の情報を保護者に提供するように努めること。 ・メール配信を有効に活用して欲しい。学校便り等の発行をメール配信し、ホームページにも掲載すること。
	・学校行事などで、学校を開放する機会を設ける			
研究・研修	・研究テーマを設け、実践的指導力の向上に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の研究授業やタブレットの研修は実施できたが、コロナ禍で研修機会を減らした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」等の新たな授業形態を取り入れ、個々の実践的指導力を向上させる。タブレットを使った授業の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな授業形態など、校内の授業研究を更に充実させ、全教員の実践的指導力が向上できるように努めること。特に、主体的・対話的で深い学びにつながる授業の充実を図ること。
職場環境の整備	・定時退勤日やノー部活デーを徹底させる	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー部活デーの完全実施に加え、定時退勤日の実施率を向上させた。 ・ハラスメントは、日頃の言動に気を配りながら、研修と自己点検を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日については、教職員の意識改革とともに、保護者にも理解を求めながら実施を進める。 ・定期的に研修を行い、自己点検するとともに、ハラスメントを許さない職場の雰囲気づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に向き合う時間を確保するためにも、教職員の業務改善は必要である。学校便り等で重ねて啓発すること。 ・ハラスメントを許さない教職員関係は、適切で信頼される生徒指導につながる。今後も自己点検に努めること。
	・ハラスメントのない働きやすい職場づくりに努める			

6 学校自己評価の実施状況について

時期	内容
4月1日	今年度の学校教育目標や重点目標の確認
5月20日	今年度の重点目標や具体的な取組内容の確認
12月7日	全教職員を対象にアンケート調査
12月7日	全生徒を対象にアンケート調査
12月7日	全保護者を対象にアンケート調査
1月8日	アンケート結果等から成果と改善点を確認

7 学校関係者評価委員会の活動について

時期	内容
7月	今年度の重点目標や取組内容・学校評価の手順等の説明(書面報告)
9月16日	体育大会視察を中止する
11月3日	文化祭の視察を中止する。
11月14日	学校自己評価について説明
1月16日	自己評価の結果と改善点等の説明 意見の聴取(書面にて応答)
1月23日	オープンスクールの視察を中止する。

8 学校評価の公表について

時期	手段	内容	添付
4月15日	学校通信・学校ホームページ	今年度の学力向上指導改善プランから重点目標や取組内容を説明	○
9月12日	PTA運営委員会	今年度の重点目標や取組内容の説明	
2月27日	学校通信・学校ホームページ	今年度の取組内容(自己評価)の成果と改善点を報告	○
3月17日	学校ホームページ	学校評価報告書(自己評価及び学校関係者評価)の報告	○